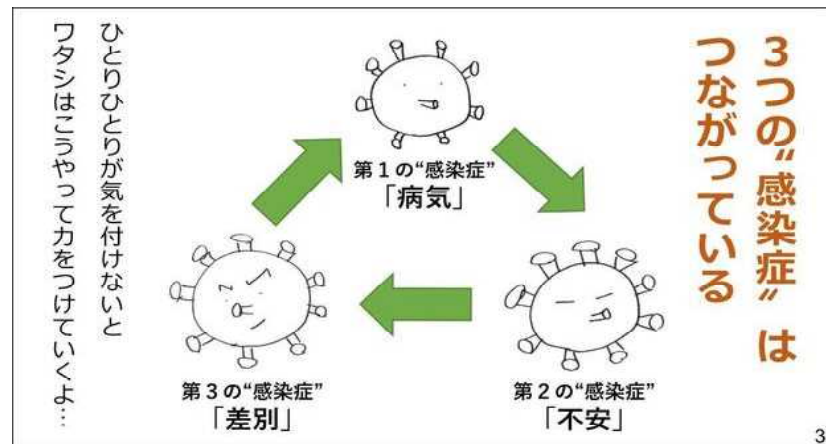


コロナウイルス感染症と人権への配慮

8月中旬にコロナウイルスの感染が広がった田辺市では、感染者やその家族、感染者が出た店などを批判する書き込みが後を絶たないのだという悲しいニュースが流れました。

下に示す図は、日本赤十字社のHPにある、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」から引用したものです。ご存じの方も多いと思いますが、簡単に説明させていただきます。3つの顔の1つめは「病気」そのものです。新型コロナウイルス感染症は、よく分かっていないことも多く、感染ルートが不明な感染者も多いことから、2つめの「不安」を引き起こします。不安や恐れは、生き延びようとする人間の本能を刺激するため、ウイルスに関わる人や対象を日常から遠ざけたり、いじめたりするのだそうです。これが3つめの「差別」です。そして、「差別」が引き起こされると、誰もが差別されることを恐れて、体調不良でも医療機関にかかるのをためらったりして、感染がさらに広がるという構図になっています。



下神野小学校でも、児童・保護者・教職員のそれぞれが気をつけています。しかし、取組を徹底しても学校や家庭において感染するリスクをゼロにすることはできません。いつか、誰かが感染するということを前提にして

過ごしていく必要があると思います。現在の状況で「不安」をなくすることはとても難しいと思います。だからこそ、上の図でいう「第3の“感染症”『差別』」をストップさせることが大切です。つまり、感染者に対する差別や偏見、不確かな情報や噂話等に惑わされ、人権への配慮に欠いた情報の拡散等を許さないということです。

特に下神野の子どもたちには、「差別やいじめは絶対にいけない」と考えられるように成長していったほしいと思いますし、コロナに感染したときに、差別を受けて本人や家族がづらい思いをすることが絶対ないようにしたいと強く思います。そのためには、まず、周りの大人がお手本を見せることが大切だと思います。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。

学校長 北川 勝則

子育てのヒントとなる読書案内 『「ほめちぎる教習所」のやる気の育て方』加藤光一：著 坪田信貴：監修 KADOKAWA 南部自動車学校代表 坪田塾塾長

何か困ったことを相談はしてくるけれど、どんなアドバイスをしても「でも、だって」と結局なにも変えない。こういう人いませんか？(中略)自己効力感(「自分ならできる」という期待感や自信が弱く、ほめられても「どうせ私なんて」という思いが勝ってしまう人です。(中略)こういう言葉が続くと「やる気がないのか!」とイライラしてしまいますが、実はこの言葉は、自信のないことへの裏返しとして出てくるものです。仕事だけでなく、人間関係への不安。理由がはっきりしている不安もありますが、「でも、だって」がログセになっているタイプの人、漠然とした不安に捉われてしまっていることが多いのです。「君ならできる」は、そんな相手の背中を押してあげる言葉です。君にはそれを満たす能力が備わっている、という「ほめる」と、できるという「励ます」が、合体している言葉なんです。ちなみに、このタイプの人、本来は建設的に考え、シミュレーションすることが得意なので、背中を押してあげれば、前向きな具合案を少しずつ相談してくるようになります。そのときにも、自分なりに考えていることを、まず受け入れてあげてください。「私もそう思うよ」「良い考えですね」「だから実践しましょう」と。無理強いではなく、そっと背中を押してあげた方が、人は大きく変わるのです。

(※「ほめるような甘い教え方では安全が守れない」「自動車運転は命がかかったもの、厳しく教えるべき」と意見された自動車学校ですが、卒業生の事故率は半数近くにまで減少したそうです。)

子どもにすすめたい本 親子で読みたい本

『プラスチックのうみ』ミッシェル・ロード：作・ジュリア・ブラットマン：画

川上拓土：訳 小学館



今年7月1日から、スーパーやコンビニのレジ袋が有料になりました。プラスチックゴミを減らそうという取り組みが、子どもたちの目に見える形で始まったといえるかもしれません。この絵本は、人間が捨てたプラスチックゴミが、海の生き物にどのような影響を及ぼしているのかを短い言葉ときれいなイラストで描いています。そして、いまずぐ取り組みを始めてきれいな海を取り戻そうと呼びかけています。現在は、毎年800万トンのプラスチックゴミが海に流れ込んでおり、このままだと2050年には、海に住むすべての魚の重さよりも大きくなるそうです。紀美野町には海はありませんが、夏には泳げる貴志川・真国川の清流があります。このような本も読んで、美しいふるさとの環境を維持する意識をもってほしいですね。(※この絵本の翻訳者川上拓土君は、2008年生まれの12歳、この絵本を翻訳した当時は小学校5年生だったというから驚きです。)

9月行事予定

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1日(火) 交通安全街頭指導
スクールセンター来校日 | 18日(金) 後期児童会役員選挙 |
| 2日(水) 心電図(1年) | 21日(月) 敬老の日 |
| 7日(月) 文化芸術観劇(全学年) | 22日(火) 秋分の日 |
| 11日(金) 育友会評議員会 19:30~ | 25日(金) 集金(給食費・育友会費) |
| 14日(月) 運動会練習開始 | 30日(水) 運動会予定 |
| 15日(火) 集団登校日
スクールセンター来校日 | 10月3日(土) 合同運動会
半日開催の予定 |